

2018年2月 地熱月報

(インドネシア) - 2件

国営電力会社 PLN、再生可能エネルギー発電 6,600MW を縮小

2018年2月26日

国営電力会社 PLN は、電力供給事業計画(RUPTL)の中で今後10年間の事業見直しを行った。2018年～2027年までの10年間に建設する再生可能エネルギー発電施設の総発電量を14,912MWとし、昨年設定した21,560MWから約6,600MWを縮小した。これは2017年の電力販売率が4%と見通しを下回ったためによるもの。

総発電量14,912MWの内訳は主に水力発電が55.5%、地熱発電が30.7%である。2017～26年は、電力販売率を8.3%に設定していたが、18～27年は約5%に下方修正した。その結果、電力生産量は56,000MWと設定し、再生可能エネルギー発電所の建設も大幅に見直したと PLN 再生可能エネルギー課のトハリ・ハディアット課長が述べた。

PLN のデータによると、2016年の時点で32,493.5MW相当の再生可能エネルギーによる発電計画が進んでいる。しかし、このうち建設中の案件は8.7%のみで、70%以上が事業化調査や初期の検討段階に留まっているのが現状である。

政府のエネルギーミック目標は、2016年末時点で7.7%だった再生可能エネルギー発電の電源構成比率を2025年までに23%にすると定めている。2016年の同発電量は7,350MWで、総発電量の12.1%である。

(出典:2月26日付ジャカルタ・ポスト)

地熱調査と評価(WPSPE)入札エリアを提示

2018年2月27日

エネルギー鉱物資源省の地熱開発委員会では、4つの地熱開発オープンエリアで地熱調査と評価(WPSPE)の入札を提示した。提示されたWPSPE情報は以下の通り。

地熱調査と評価(WPSPE)入札エリア

No.	地域名	州	面積 (Ha)	潜在発電量 (MW)	提示期間 (2018年)
1	Geureudong	アチェ州	108,300	160	2月27日 ～ 3月26日
2	Hu'u Daha	西ヌサ・トゥンガラ州	27,850	65	2月27日 ～ 3月26日
3	Cubadak	西スマトラ州	18,450	66	3月14日 ～ 4月13日
4	Pentadio	ゴロンタロ州 (スラウェシ島北部)	35,270	25	3月14日 ～ 4月13日

WPSPE の申請手続き及び申請資格は以下の通り。

1. WPSPE に申請できる参加者は、経験豊富なエンジニアであるか、地熱開発、または、石油・天然ガスの上流事業、鉱物/石炭鉱業、発電に従事している。
2. PT.PLN (Persero)との事前取引契約(PTA)は、調査が完了して地熱許可証が発行された後に行われる。PTA の電力参照価格は、法令の規定に従う。
3. WPSPE 入札には、登録用紙の返却、入札書類の申請と解説、WPSPE 申請時のアサイメント書類の提出が含まれる。
住所 : The Secretariat of the Electoral Committee of the Geothermal
PSPE Building Directorate General EBTKE 3rd Floor,
Jl. East Pegangsaan No. 1, Menteng, Central Jakarta.
4. WPSPE 入札申請には、社長または代表から委任状を提出する。
5. WPSPE 入札発表と登録フォーム、および WPSPE プロファイルはホームページよりダウンロード可能。

(出典: 新再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) 地熱局)